

食物アレルギーっ子の気持ちを伝えるハロウィンの絵本 『アレルギーっ子チルチルと青カボチャ』を第7回みんなの EXPO2021（アレルギー）で販売

食物アレルギー児向けにエンターテイメント情報を発信している「アレルギーっ子の旅する情報局 CAT（2015年発足 代表村田愛）」は、食物アレルギーがある子どもの感情を伝える絵本『アレルギーっ子チルチルと青カボチャ』を2021年に発売をWEBページで開催しました。そして、この度、2021年10月26日に開催される、第7回みんなの EXPO2021（アレルギー）の当団体ブースにて、絵本を販売することとなりました。

食物アレルギーがある子がどんな気持ちでいるのか、どうしたら楽しめるのかを伝える

国内の子どもの5人に一人が、食物アレルギーと言われている現在。食物アレルギーの子どもが作る！読んでいて楽しくなるアレルギー啓発絵本を作りたい！と思い、小学校4年生、中学校2年生（当時）食物アレルギーをもつ2人の子とともに、2020年絵本製作のプロジェクトを立ち上げました。

食物アレルギーのこと、原因や治療法、どう配慮をしていけばいいのかを示した情報サイトや書物は実に日本にたくさんあります。ただ、その中に「当事者の声」「気持ち」をメインに置いたものは少なく感じます。

当事者である子どもたちの声をもっといろんな人に知ってもらいたい。

どうやったら知ってもらえるのか……と考えたとき、物語として伝えるのはどうかと考え、さらにより分かりやすく小さい子でも楽しみながら読めるようにと絵本という形で表現するため、絵本という形となりました。

発行資金としてクラウドファンディングに挑戦し、目標金額の144%を達成。無事150部発行することができました。当初はクラウドファンディングでのみの配布という形でしたが、増刷を希望する声が多くあり2021年からWEBページでのみの販売を開始しました。

なぜハロウィンなのか。なぜ青いカボチャなのか



ハロウィンは仮装した子どもたちが家を練り歩きお菓子をもらいます。そのため、卵乳製品小麦などを食べることができない食物アレルギー児はハロウィンを楽しむことができませんでした。

そんな背景から、2014年アメリカ団体の Food Allergy Essentials は「Teal Pumpkin Project」を立ち上げました。

ハロウィンの飾りの定番といえばオレンジ色のかぼちゃですが、食物アレルギー児向けに、おもちゃやアレルギー配慮のおかしを配る家は青いカボチャを飾る。これが「Teal Pumpkin Project」です。

この絵本で登場する青カボチャは、ここから由来しています。

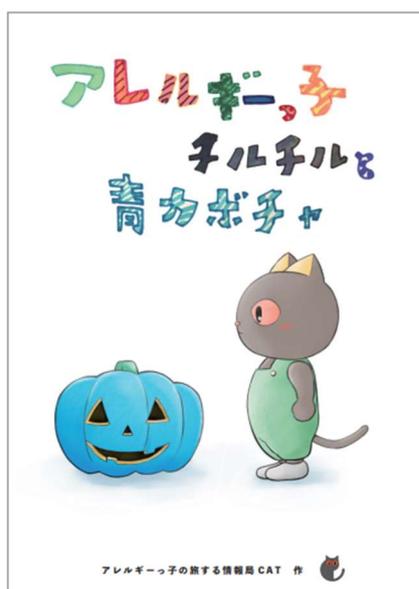
絵本概要

◆あらすじ

今日は1年に一度訪れるハロウィン！みんなはお菓子をもらえるとニコニコわいわい！
だけど、チルチルはこの時期いつもしょんぼりしています。
ハロウィン当日、チルチルは青いカボチャの衣装を着てハロウィンの仮装行列に参加します。
「チルチル、なんで青いカボチャなの？」みんなは不思議そうな顔でチルチルに問いかけます
青いカボチャの意味とは、そしてチルチルの気持ちとは！？
食物アレルギーの有無に関係なく、すべての子どもに読んでもらいたい一冊です。

◆販売サイト https://peraichi.com/landing_pages/view/eghyq

◆販売価格 2,200円（税込み）



《問い合わせ先》

アレルギーっ子の旅する情報局 CAT 代表 村田愛

TEL : 08031200316 MAIL : wakuwaku@childallergytrip.com

公式サイト : <https://usapen.info/>



※※第7回みんなの EXPO2021（アレルギー）開催概要※※

- ・開催日時 2021年10月26日（火）10時～19時
- ・会場 京王プラザホテル 4階 花 ほか
〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1
- ・主催 第7回 みんなの EXPO 2021（アレルギー実行委員会）
一般社団法人日本環境保健機構

要配慮者を守る！

第7回
みんなのEXPO2021
（アレルギー）

